

番号	9	平成30年度公共事業再評価調書				担当課名 河川海岸整備課	
事業名	高潮対策事業			事業主体	静岡県		
箇所名	ぬまづ うしぶせかいがん 沼津牛臥海岸			関係市町村	沼津市		
事業採択年度	平成 26 年度		計画期間	平成26年度 ~ 平成38年度			
用地着手年度	平成 27 年度		工事着手年度	平成 28 年度			
再評価理由※	事業採択(H26)後5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円 3,120	投資状況 (百万円)	~H28年度 516	H29年度 110	H30年度見込 200	計 826	
事業概要	<p>(1)事業目的 今後、近い将来(約100~150年の間)に起きるおそれのある駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震により発生が想定されるレベル1津波から、海岸施設背後地にある宅地家屋の浸水被害(想定浸水面積87.9ha)を防止し、地域住民の生命・財産を守ることを目的とする。</p> <p>(2)事業内容 全体延長 1,323m 堤防嵩上工 延長681m、水門 延長30m(1基)、陸間 延長21m(2基)、液状化対策工 延長1,272m</p>						
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 東日本大震災を教訓とした静岡県第4次地震被害想定が平成25年6月に公表され、特に津波による浸水被害が想定される沿岸地域では、津波対策の施設整備を進めるとともに、防災教育や津波避難訓練の実施など、地域住民の防災意識の醸成が図られている。このような中、地域住民の生命と財産を守るうえで重要な役割を担う海岸保全施設の整備に対する期待は益々大きなものになっている。</p> <p>(2)事業の投資効果 B/C=33.93(総便益103,781百万円/総費用3,058百万円)</p> <p>(3)事業の進捗状況 平成30年度までの予算にて、延長198mの堤防嵩上工が完成する見込みである。</p> <p>H30年度末進捗率 【事業費】 26.5% 826百万円/3,120百万円 【事業量】 15.0% 198m/1,323m 【用地取得】 100% 2,150.6m²/2,150.6m²</p>						
事業の必要性	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点2】 今後の事業の進捗の見込み	<p>地元の協力や事業に対する期待も大きく、引き続き進捗が見込まれる。また、沼津御用邸記念公園が隣接する区間の施工に向け、引き続き管理者等の協議を進めるなど、計画的な事業進捗と早期効果発現を図る。</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点3】 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>既設海岸堤防を生かして嵩上げするほか、最新の知見や新技術・新工法を取り入れて、コスト縮減を図る。 本事業によりハード対策を実施し、想定されるレベル1津波から県民の生命・財産を守る。そして、レベル2津波に対しては、沼津市による津波ハザードマップの整備や地域の継続的な津波避難訓練などのソフト対策を組み合わせ、被害の最小化を図るよう沼津市と連携して進めていく。</p>						
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を(<input checked="" type="radio"/> 継続 ・ 見直し後継続 ・ 中止)する。</p> <p>(2)理由 本事業による施設整備は、レベル1津波から地域住民の生命・財産を守るものであり、費用対効果も認められることから、事業継続とする。</p>						

費用対効果算出説明書

沼津牛臥海岸 津波対策事業

「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)」海岸4省庁(農林水産省・国土交通省)、平成16年6月
 「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省河川局、平成17年4月

総括表

総便益 B	[事業を実施しない場合の被害額] - [事業を実施した場合の被害額] + [施設の残存価値]	103,781百万円
総費用 C	[建設費] + [評価期間内に必要な維持管理費]	3,058百万円
B / C		33.93

総便益

[事業を実施しない場合の被害額] - [事業を実施した場合の被害額] + [施設の残存価値]

年平均被害軽減期待額を社会的割引率4%、評価対象期間63年(整備期間13年+50年)とし、現在価値化する。

総便益

$$B = \sum \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n$$

$$= 103,781 \text{百万円}$$

※被害額は、想定浸水地域内(面積87.9ha)に存在する家屋、事業所、農作物、公共土木施設などの被害額を積み上げたもの

総費用

建設費: 3,120百万円、維持管理費(構造物建設費の0.5%/年)、評価対象期間: 63年

$$\text{費用計} = \sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n$$

$$= 3,058 \text{百万円}$$

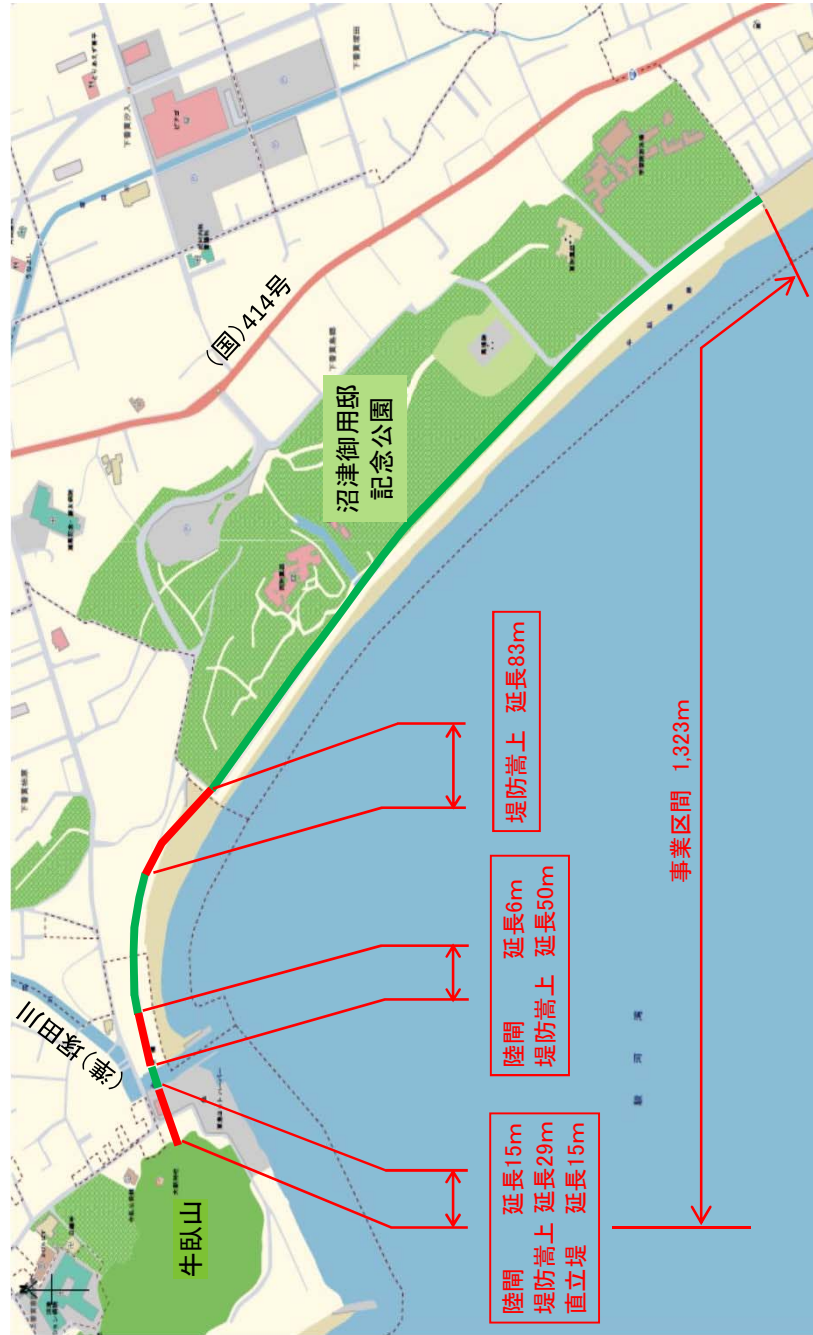
位置図



沼津牛臥海岸 高潮対策事業内容

事業期間 : 平成26年度～平成38年度
 事業延長 : 1,323m
 事業内容 : 堤防高上工
 (堤防高上工 延長681m、
 水門 延長30m (1基)、
 陸閘 延長21m (2基)、
 液状化対策工 延長1,272m)

平面図



凡例

— H30までに施工

— H31以降に施工

横断面図

陸側

海側

コンクリート被覆
厚さ50cm

幅 3.0m

▽T.P.+8.1m(計画堤防高)

▽T.P.+7.4m(設計津波水位)

▽T.P.+6.0m(現況堤防高)

1:2.0



沼津牛臥海岸空中写真（牛臥山から南側を臨む）

平成29年12月撮影



陸閘の改築(平成29年度完成)



平成30年4月撮影



平成30年4月撮影



平成30年4月撮影